

「職業として選択できる農業を」

子にも誇れる農業を目指す青年農業者

岡光輝さん【就農29年目】

みづてる



Interview



◇就農のきっかけ、生産の規模

岡光輝さんは、代々久留米で農業を営む農家の生まれで、久留米筑水高等学校を卒業後、親の勧めもあって就農しました。

就農後は、徐々に経営規模を拡大し、現在は、水稻18ヘクタールをはじめ、大豆1.8ヘクタール、小麦を15ヘクタール、野菜では、露地でホウレンソウやブロッコリーを2ヘクタール、施設で小松菜を2,000坪(約70アール)栽培しています。

また、ピオーネやシャインマスカットなどの品種のぶどうも20アール程栽培されており、岡さんの農業は、多様な品目が生産される久留米市の農業を体現したものだと感じました。

◇農業への思い、姿勢、こだわり

従業員などがあるので、多くの種類の作物を作って、年間通した作業や出荷ができるよう心掛けています。

また、自分で作った物は、必ず一番に自分食べていると言われました。生まれ育った場所なので、農業経営や生活面で問題はないが、近

年の水害や台風などの自然災害では、被害を受け、自分の力では何もできないこともあり、辛かったこともあったと言うことです。

しかし、自分が作った作物が、子や多くの人から「美味しい」と言われる時は、とても嬉しく作って良かったと感じることができるとお話しされました。

今は、自分の子から「農業に就職したい」と、職業の1つとして選んでもらえるような経営者を目指していると言うことです。

◇人の繋がりも大切

農業だけでなく、地域や他の農業者との関わりも大切だと言われました。現在は卒業されていますが、以前はJA青年部で頑張っていました。また、消防団に所属し、地域の活動を精力的に行うなど、本当に地域と人との繋がりを大切にされているなど感じました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

久留米は、温暖な地域なので、作物が作りやすいです。

また、積極的に地域にも関わり、地域の人に認められるようになれば、より楽しい農業生活が送れますと、笑顔でお話しされました。



DATA



経営面積／約38ヘクタール

主な生産作物／水稻、大豆、小麦、ホウレンソウ、ブロッコリー、小松菜、ぶどうなど

労働力構成／本人、家族2名、従業員2名、パート1名